

■ピアノ科 講師資格認定オーディション【実技課題 (R5~R2)】《2018年4月~2019年3月》

掲載の指定課題曲の該当期間は、**2018年4月~2019年3月**です。

指定課題曲の選択ミスなどは「不合格」となりますので、お間違いのないようご確認の上、受験に臨んでください。

《講師資格認定オーディション [実技] 使用機種》

ローランド・デジタルピアノ (HPi/HP/LX/KRシリーズなど) またはアコースティックピアノ

※使用楽器は会場によって異なります。あらかじめ実施会場にご確認ください。

※「課題曲B」、「C」での演奏楽器は、SMFミュージックデータを再生可能なローランド・デジタルピアノ、またはアコースティックピアノとMT-90Uとの組合せのいずれかとなります。

課題/ランク	R5	R4	R3	R2
自由曲 (暗譜)	ソナチネ以上1曲 (注1)	-		
課題曲A (暗譜)	-	ピアノ科講師資格認定オーディション課題曲集 (品番: SPE-1)		
		R4-IV (F-IV) VALSE	R3-IV (R-IV) BARCAROLLE	R2-IV (M-IV) NOCTURNE
課題曲B (ミュージックデータとのアンサンブル) (注2)	ツェルニー-120 ① (品番: PC-11) ・38番 ト長調 ♩=184 ・49番 八長調 ♩=120 ・60番 へ長調 ♩=88 (ミュージックデータ アルバム番号 : FCZ-101)	ツェルニー-120 ② (品番: PC-21) ・67番 変口長調 ♩=90 ・74番 二長調 ♩=134 ・85番 八長調 ♩=138 ・100番 変木長調 ♩=102 ・101番 ト長調 ♩=126 ・119番 ト短調 ♩=78 (ミュージックデータ アルバム番号 : FCZ-102)	ツェルニー-30番 ・第2番 八長調 ♩=160 ・第6番 八長調 ♩=134 ・第13番 変口長調 ♩=240 (ミュージックデータ アルバム番号 : RJG-6001)	ツェルニー-30番 ・第16番 八長調 ♩=75 ・第21番 変口長調 ♩=137 ・第25番 二長調 ♩=132 (ミュージックデータ アルバム番号 : RJG-6001)
	上記3曲より1曲準備、当日1曲演奏	上記6曲より1曲準備、当日1曲演奏	上記6曲より1曲準備、当日1曲演奏	上記6曲より1曲準備、当日1曲演奏
課題曲C (注3)	-	ピアノ・レパートリー① (品番: T31-114) ・11.妖精の踊り ♩=175 ・14.大きな階段のマーチ ♩=120 (ミュージックデータ アルバム番号 : T31-114)	インヴェンション (J.S.バッハ) ・第3番 二長調 ♩=132 ・第8番 へ長調 ♩=120 ・第11番 ト短調 ♩=70 (ミュージックデータ アルバム番号 : RJG-0007)	シンフォニア (J.S.バッハ) ・第4番 二短調 ・第8番 へ長調 ・第12番 イ長調
	-	ピアノ・レパートリー② (品番: T31-115) ・3.小プレリュード ホ短調 ♩=176 (ミュージックデータ アルバム番号 : T31-115)	ピアノ・スタディーズ 1シリーズ グレード4 ・第1番 イ短調 (HELLER Op.47 No.3) ・第9番 八長調 (DUVERNOY Op.61 No.6)	ピアノ・スタディーズ 1シリーズ グレード6 ・第2番 口短調 (HELLER Op.46 No.11) ・第4番 八長調 (STERNDALÉ BENNETT Op.33 No.1)
	-	ピアノ・スタディーズ 1シリーズ グレード3 ・第10番 ト短調 (WOHLFAHRT Op.36) ・第12番 イ短調 (LEMOINE Op.37 No.38)	アンソロジー 1シリーズ BookⅢ ・第12番 FOLK SONG (GRIEG Op.12 No.5)	アンソロジー 1シリーズ BookⅣ ・第5番 BAGATELLE in A (BEETHOVEN Op.33 No.4)
	-	アンソロジー 1シリーズ BookⅡ ・第2番 CORRENTE in A minor (FRESCOBALDI) 上記6曲より1曲準備、当日1曲演奏	上記6曲より1曲準備、当日1曲演奏	上記6曲より1曲準備、当日1曲演奏
初見視奏	ピアノ譜8小節		ピアノ譜16小節	
初見視唱	8小節のメロディー視唱		12小節のメロディー視唱	
初見視打	4小節のリズム打ち (両手)	6小節のリズム打ち (両手)	8小節のリズム打ち (両手)	

(注1) 【R5 自由曲 (ソナチネ以上) について】

- 没年が1944年以前の作曲家の作品とし、アレンジされた楽曲、ポピュラー曲は自由曲の対象から除きます。
- ソナチネを演奏する場合は、緩徐楽章を除く第1楽章または終楽章を“繰り返しなし”で演奏してください。
「ソナチネ・アルバム第1巻」より、第4番 (Kuhlau Op.55 No.1)、および第7番 (Clementi Op.36 No.1) は自由曲の対象から除きます。

(注2) 【課題曲B (ミュージックデータとのアンサンブル) について】

- 受験の際に使用するSMFミュージックデータはUSBメモリーで持参してください (課題曲Cでミュージックデータを使用する場合も同様です)。
会場にはミュージックデータのご用意がありませんので必ず各自でご持参ください。なお、操作は受験者本人が行うものとします。
※ミュージックデータ再生機器の操作が出来ていない場合 (演奏パートをミュートしていないなど) や、持参したミュージックデータが読み込めないなどのトラブルの場合は減点対象となることがあります。念のため、必ず各自で予備のデータを持参してください。
- テンポは、ミュージックデータに指定されている所定のテンポ (上の表に記載されたテンポ) で再生、演奏してください。※表中のテンポは曲頭のテンポが示されています。

(注3) 【課題曲Cについて】課題曲Cにおけるミュージックデータの使用は任意とします。(課題曲Bではミュージックデータの使用が必須です)

※ミュージックデータは、「ローランド ネットワーク サービス」のスクール会員専用ページでご購入ください (<http://www.roland.co.jp/school/member/> より「ローランド ネットワーク サービス」のサイトへアクセスしてください)。
購入の際は、ダウンロード手順 (http://www.roland.co.jp/school/member/textbook/pdf/rms_manual.pdf) をご確認の上、表中の“アルバム番号”を参照ください。

★次ページも必ずご確認ください⇒

【ローランド・デジタルピアノ設定について】

原則として、受験者によるローランド・デジタルピアノの設定の変更は不可とします。

※各機種ともに「ファクトリー・リセット」を行った状態での演奏となります。ただし、ローランド・デジタルピアノ本体でミュージックデータを再生する場合、以下の項目については受験者本人による設定の変更を許可します。

1. “データ再生音と鍵盤音の音量バランス”については、各自で調整していただいて構いません。
2. ミュージックデータ再生時および再生後に、鍵盤で弾くピアノ音のリバース設定が変わる場合があります。（ミュージックデータのリバース設定が反映されるため）その場合は、受験者側でリバース設定を元の状態に戻していただいて構いません。

■初見視唱について

受験者自身が、右の譜例のとおりその曲の調性で『主和音』を弾いてから歌い始めてください（調性が異なる場合や、譜例のとおりでない場合は減点対象となります。）なお、歌唱の方法は階名唱（固定ド、移動ド）、ララ唱のいずれも可とします。

Key C の場合



Key G の場合



■初見視打について

リズム打ちで使用する音は右の通りです。



■ピアノ科 講師資格認定オーディション【筆記課題 (R5~R2)】《2018年4月~2019年3月》

掲載の課題の該当期間は、**2018年4月~2019年3月**です。実技課題と筆記課題は、個別に受験することができます。

項目/ランク	R5	R4	R3	R2	
筆記課題 (60分)	楽典の総合問題 提示された楽譜をもとにした問題	調判定、音程、楽語、和声分析 楽典分析の問題。ピアノ曲より 出題（選択問題）	調判定、非和声音、楽語、和声 分析、楽典分析の問題。ピアノ 曲より出題（選択問題）	和声分析、非和声音、楽語、楽典 分析の問題。室内楽曲より出題 （選択問題）	和声分析、コードネーム、楽典分 析、楽器（音域、奏法等）、楽器 編成の問題。管弦楽曲より出題 （選択問題、または○×で解答）
	ピアノ奏法	装飾記号などの名称や奏法を答える問題。（選択問題）			-
	音階と調	短音階（自然、和声、旋律） および長音階に関する問題。 （選択問題）	調号の付いていない旋律から 調判定。5問程度。（選択問題）	移調。移調楽器の記譜を実音譜に直す問題。 （実際に五線に記す）	-
	音楽史・一般知識	クラシック、ポピュラー、ラテ ン等、音楽全般の問題。5問程度 （選択問題）	クラシック、邦楽、ジャズ、ポ ピュラー、ラテン等、音楽全般 の問題。5問程度（選択問題）	音楽史全般と音楽一般知識に関す る問題。10問程度（選択問題）	-
	和音	和音の種類を答える問題。 （選択問題）	非和声音や和音の種類を答える 問題。（楽典の問題に含む）	和音記号や非和声音を答える 問題。（楽典の問題に含む）	和音記号を実際の音符に書き 改める。
	コードネーム	基本的なコードネームを答える 問題。（選択問題）	コードネーム（aug、dim等を 付加）を答える問題。 （選択問題）	コードネームを答える問題。 ポピュラーピアノ譜上の空欄を埋 める。（選択問題）	コードネームを実際の音符に 書き改める。
	指導法	一般的な音楽教育に関する問題（○×で解答）			R5、R4の問題を記述形式にした問題。（記述問題）
	システム	ローランド・ミュージック・スクール音楽教育システム全般に 関する問題（○×で解答）			-
	楽器の種類・ 楽器編成	-	室内楽の楽器編成に関する 問題。（選択問題）	ある楽器編成に含まれる楽器を 選ぶ問題。（楽典の問題に含む）	オーケストラ譜の数小節をピアノ 譜にアレンジする。
	創作	-	-	8小節程度のピアノ曲で、1~2小節のモチーフの続きを作曲する。 R3は和音記号、コードネーム指定あり、R2は指定なし。 （実際に五線に記す）	-
音楽形式	-	-	穴埋め（記述）問題。ある音楽形式に関する文章の中の空欄を 埋める。	-	
聴音課題 (10分)	聴音 旋律、リズム、和音 6~8小節	楽譜に書かれている音と、流れ ている音を比べ、正しいかどう かを○×で解答。和音は2声。	楽譜に書かれている音と、流れ ている音を比べ、正しいかどう かを○×で解答。和音は3声。	実際に書き取る。和音は4声。	実際に書き取る。和声聴音の 代わりに2声の旋律聴音を出題。
	実際の音楽を聴いて 答える問題	基本的な音楽ジャンル、楽器編 成、リズムの種類、様式等を答 える問題。5問程度。 （選択問題）	楽器名を答える問題。5問程度。 （選択問題）	リズムの種類を答える問題。 5問程度。（選択問題）	R5よりも広範囲な音楽ジャンル 楽器編成、リズムの種類、 様式等を答える問題。5問程度。 （選択問題）

■ピアノ科 講師資格認定オーディション【課題(R1)】

掲載の課題の該当期間は、**2018年4月~2019年3月**です。

受験に際してはピアノ科R2講師資格を保有していることが条件となります。各課題は、個別受験、複数受験いずれも可とします。

演奏課題	①20分程度で自由曲を3曲以上演奏する。ただしロマン派と近代などの時代様式を取り入れ、各自でプログラムを組み立てること(暗譜) ※曲目を事前にご提出いただけます。講師・講習生会員専用ページにある書式PDF「 ピアノ科R1演奏課題曲目事前提出票 」に 曲目を記入し、試験実施10日前までにFAXまたは郵送にて受験会場にご提出ください。 ②初見視奏課題
クリエイション課題 (60分)	当日、伴奏付モチーフが3題提示され、1つを選択。指示に従いピアノ譜として完成。楽器なし。
レポート課題 (60分)	指導方法について述べる。当日テーマが3題提示され、1つを選択。400字詰原稿用紙3枚程度。国語辞典のみ持ち込み可。